



HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成26年10月2日

受付日：平成26年1月30日

受付番号：HP14-KT050

接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股 考志

1. 接合金物名称	枠材用ビスどめホールダウンHi L
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(アンカー型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「ビスどめホールダウンHi L」 材 質：背板部 SPFH590(JIS G 3134^{*1}) U金具部 SPHC(JIS G 3131^{*2}) 寸 法：45mm×46.5mm×249mm(外形) 背板部板厚3.2mm ビス用孔10-φ7.5mm U金具部板厚4.5mm</p> <p>2) 接合具</p> <p>枠材側：「木ねじ TBB-105」10本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23% Mn;0.70~1.00% P;0.030%以下 S;0.050%以下 寸 法：頭部径φ10.8mm L=105mm 表面処理：エコーコートWH処理</p> <p>架台側：「六角ボルト M16」1本 材 質：強度区分4.6を満足する炭素鋼(JIS B 1180^{*3}) 寸 法：M16 L=240mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)^{*4}</p> <p>「六角ナット M16」1個 材 質：強度区分4を満足する炭素鋼(JIS B 1181^{*5}) 寸 法：M16 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)^{*4}</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱材：105mm×105mm×1000mm スギ 無等級材 含水率：6.5~10.0% 全乾密度：0.40~0.46g/cm³</p> <p>枠材：105mm×1000mm 厚さ30mm スギ 無等級材 含水率：8.5~9.5% 全乾密度：0.40~0.44g/cm³</p> <p>4) その他</p> <p>柱材と枠材の接合：鉄丸くぎN75 15本</p> <p>^{*1}JIS G 3134 自動車用加工性熱間圧延高張力鋼板及び鋼帯 ^{*2}JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 ^{*3}JIS B 1180 六角ボルト ^{*4}JIS H 8610及びJIS H 8625 電気亜鉛めっき及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜 ^{*5}JIS B 1181 六角ナット</p>
6. 試験条件等	試験体は、実状に合わせた仕様とし、枠材を介して当該接合金物を柱に取り付けた。 試験体は、「六角ボルトM16」及び「六角ナットM16」を用いて鉄骨架台に手締めにて固定した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 42.8 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成26年4月14日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。